

第15回 十勝川中流部川づくり報告会【議事録概要】

【開催要旨】

開催日時：令和元年10月15日（火）13:00～14:30

開催場所：十勝川インフォメーションセンター 2F

出席者数：30名

【議事要旨】

報告テーマ	報告内容等
開会挨拶	十勝川中流部市民協働会議事務局幹事：和田氏より、開催にあたっての挨拶
平成31年～令和元年度活動経過報告	事務局：橋本氏より、今年度（4～10月）の当事務局の活動を報告
帯広工業高校による活動報告	帯広工業高校の生徒が不参加のため、事務局から活動概要を報告 1. 環境土木科1年生：事務局 橋本氏 2. 環境土木科2年生：事務局 前田氏 3. 環境土木科3年生：事務局 前田氏 4. 流木処理研究班：事務局 前田氏
相生中島上流湿地の夏期魚類調査の活動報告	夏期魚類調査：事務局 大澤氏
帯広農業高校による活動報告	1. いい川・いい川づくりワークショップについて 2. 相生中島上流湿地について
河川工事の経過及び今後の川づくりについて	帯広河川事務所計画課 永木係長より、今年度の十勝川中流部川づくりに関連した工事の経過と今後の川づくり概要を説明
今後の活動予定	事務局：紅葉氏より、今年度の活動の残りについて 高校との連携（横断測量のまとめ、タンチョウ給餌場設置、防災講習）
講評	十勝多自然ネット事務局長 伊豆倉氏より講評
閉会挨拶	河川管理者：帯広河川事務所 中山副所長より閉会挨拶

【報告概要】

発表者	発表 テーマ	要 旨
<p>十勝川中流部市民協働会議 事務局 橋本</p>	<p>平成30年度 活動報告</p>	<p>今年度の4月～10月に行った主な活動内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) R01.5.7-10 十勝川相生中島上流湿地の水域拡大を目的に、H29年からの継続で3度目の掘削を実施 2) R01.5.31 帯広河川事務所が進める河川工事についての現地視察をオブザーバーとして参加し、意見交換を行う会議に参加 3) R01.6.6 札内川光南地区 水辺の楽校においてH29～30年に植樹した「実のなる木」周辺を除草 4) R01.7.2-3 札内川光南地区 水辺の楽校においてH29～30年に植樹した「実のなる木」周辺が散策路として利用しづらい環境となったため、バックホウで表土をめくり植物が生えにくいよう整備 5) R01.9.8 第2回十勝川アシリチェプノミを実施 6) R01.9.28 「第2回 十勝の川づくりワークショップ」(トヨタソーシャルフェス)を開催、案内看板の設置、実のなる木の植樹会、水切り大会、水生動物観察を実施 7) R01.10.5-6 今年で22回目を迎えるいい川・いい川づくりワークショップは滋賀県大津市で開催され、十勝では本別アイヌ協会(協力:当団体)と帯広農業高校が出場 8) R01.10.12 十勝ダム・キナウシ地区でH30年に樹木を播種した箇所のモニタリングを実施し、オニグルミやミヤマハンノキ等の生育を確認
<p>(代理) 帯工環境土木科1年 事務局 橋本</p>	<p>札内川 中札内橋 上流部の横断測量</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) R01.6.4 札内川の礫河原再生へ向け、札内川の特徴・歴史などの環境学習 2) R01.6.18 札内川中札内橋上流部で横断測量(1回目)の実施(札内川ダムからの放流前) 3) R01.10.1 札内川中札内橋上流部の横断測量(2回目)の実施(札内川ダムからの放流後)
<p>(代理) 帯工環境土木科2年 事務局 前田</p>	<p>十勝川十勝大橋上流左岸 クサヨシ播種とヤナギ等の除去</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) R01.6.6 十勝川十勝大橋上流左岸において、ヤナギ林による再樹林化を防止するためヤナギとオオアワダチソウの除去をした箇所にクサヨシの播種を実施 2) R01.9.19 十勝川十勝大橋上流左岸において、オオアワダチソウの刈取りを行った箇所にクサヨシを播種する予定だったが強風と降雨により延期し、6月に播種した箇所からヤナギとオオアワダチソウが生育してきていたため、その除去作業を行った

発表者	発表 テーマ	要 旨
(代理) 帯工環境土木科 3年 事務局 前田	防災に関する授業	<p>1) R01. 6. 10 帯広開発建設部治水課、帯広建設管理部治水課、帯広市総務課から講師を招き防災授業を開催、帯建及び建設管理部からは、災害時の状況や治水に関する説明、帯広市からは H28 災害時の状況や災害の備えについて説明があった</p> <p>2) R01. 9. 2 水理学について、売買川下流部で流量観測を行い、その後、教室に戻り調査データに基づいた流速・流量計算を実施</p>
(代理) 帯工環境土木科 事務局 前田 流木処理研究班	札内川光南地区 水辺の楽校に おける流木の腐朽調査	<p>1) R01. 8. 6 H29 年から始まり今年で 3 年目の活動となります。今回初めて流木調査を実施する帯広工業高校の生徒に現地で流木調査の概要を説明してから、帯広工業高校に戻り木材成分変化試験 (pH 及び EC) を行った</p> <p>2) R01. 9. 14 今年度 2 回目の活動となります。今回は前回に続き広工業高校で木材成分変化試験 (pH 及び EC) を行った</p> <p>調査結果 外観調査：流木は全体的に木材腐朽菌が付着していたが、流木塊中に存置している箇所では付着していなかった。伐採木は、礫質土に接触している箇所のみ試料木すべてに木材腐朽菌が付着していた。 密度調査：試料片をその都度切り出しているため、値にばらつきが出ているところも見受けられるが各調査区とも時間経過に伴って密度が減少する傾向が見られた。 木材成分：pH は昨年より減少している箇所もあれば、上昇している箇所が見られ変化試験 た。EC は全体的に上昇していたが、流木塊中のみ低い数値で安定していた。</p>
帯広農業高校 生徒から	いい川・いい川づくりワークショップの活動報告	<p>・いい川・いい川づくりワークショップについて 発表内容は昨年までの調査結果と攪乱をテーマに発表させていただきました。 今回気になって質問したことは、高校生が SNS を使って川に関する情報を発信するには実際どう広めていくか、どんな情報を発信していくか、注意する点はあるか、一般の方にどう受け止めていただくかということを確認しました。手塩川について発表された方々に質問したところ、夕焼けと川が入った写真を SNS に投稿することによって川のきれいさに気づいてもらえるのではないかと、チラシや呼びかけをすることも大切だと意見をいただきました。一般の方に広めていくことに関しては、川ゴミネットワークの方々から専門的なことは高校生や大人じゃないと責任を持って作業ができないため、小学生には川について教えることで知ってもらえるのではないかと教えていただきました。</p> <p>・攪乱について 攪乱はどうして起こったのか、攪乱が起こり土は流れたのかという話を聞いてきました。山の栄養分のある土が川に流れてきて、その土から微生物が発生しそれが餌となる生物になったのではないかと意見をいただきました。 私たち帯広農業高校は、いい川づくりワークショップで入賞することができました。私たち高校生の力だけでなく、専門家の方々がサポートしてくれたことで入賞することができました。本当にありがとうございました。</p>

発表者	発表 テーマ	要 旨
帯広農業高校 高山教諭から	いい川・いい川づくりワークショップと 相生中島上流湿地の活動報告	<p>H28年の台風後に魚類の生息数がどう変化したかということで、昨年のデータを使わせていただきました。昨年のデータを見ると台風から2年経過して魚類の生息数が急激に増えていて、なぜ増えたのか理由がわかりませんでした。いい川づくりの交流会の時に色々な人とお話をさせていただいたときに攪乱という言葉と出会いました。その後色々調べていく中で、河川環境に変化が起きた時に一時的に生物が増えることがあるという仮説がありました。ただ、調査の時に捕獲量が多いときもあれば少ないときもあるので、本当に生息数が増えたのかどうか、面積が減ったことで魚類が増えたということもあるのではないかと考えました。全体で増えたかはわからないと思っていましたが、毎回魚類の体重も計測しているため、魚種ごとの体重変化を夏期と秋期での体重の増減率、1匹あたりの体重の増減率の結果について考察しました。その結果、台風前は減っていて、夏期と秋期で比べた時に台風後は増えていたため、餌が増えたことにより生物も増えたのではないかと考察しました。湿地造成後は石を置いたり、草本を移植したおかげで魚類が増えたと言っていました。台風により全部流されてしまいこの活動も終わりかなと思ったときに魚類の生息数が急激に増えたことに驚きました。攪乱を取り入れるのは難しいと思っています。攪乱を研究して、何らかの形で取り入れて魚類を増やすことができる川づくり湿地づくりを私と高校生で今後勉強していきたいと思っています。</p> <p>今回は災害規模の出水により攪乱が起きましたが、今後の実験にどう繋げればいいのか皆さんの知恵をお借りしたいと思っています。大竹君も発表してくれた通り、山と川と平野が繋がって攪乱されたのではないかとお話を聞きました。実際は畑の土も流れてきたのもあると思いますが、1つのヒントとして土に着目して今後の実験を進めていきたいと思っています。</p> <p>この活動を継続したことによって先輩方が川づくりに携わる仕事に就いた方もいて、地域の先輩として非常に後輩に影響を与えています。</p>
帯広河川事務所 永木係長	河川工事の経過及び今後の川づくり について	<ol style="list-style-type: none"> 1) 十勝川中流部の川づくり（案）の策定から十勝川中流部市民協働会議の発足、現在の川づくりの進め方の概要説明 2) 十勝川中流部川づくりワークショップ川づくり（案）に基づく整備状況は、現在進行中が3か所 3) 令和元年度の河道掘削工事は、十勝川温泉から十勝エコロジーパークにかけて流下断面の確保を目的として実施（L=1.25 km） 4) 令和元年度の伐採工事は、十勝大橋上流（A=1万㎡）、十勝大橋下流（A=4万8千㎡）千代田堰堤下流部（A=6万6千㎡）の3箇所あり、河道内の適切な維持管理等と流下能力の確保を目的として実施 5) 令和元年度の管理用道路工事は、帯広市かわまちづくり計画に基づき、帯広市新総合体育館の整備と連携し、健康スポーツ都市の推進や多目的に利用できる河川空間を創出することを目的として実施 6) 令和元年9月に十勝大橋右岸上下流が都市・地域再生等利用区域に指定されたことにより、公共性や公益性を有する者等に限定されていた河川空間の独占的な利用が民間事業者等による収益イベント等の営業活動が可能となりました

発表者	発表 テーマ	要 旨
十勝川中流部市民協働会議 事務局 紅葉	今後の活動予定	<p>今年度 10 月から 3 月までの活動予定</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 札内川礫河原再生の一環で行った帯広工業高校環境土木科 1 年生による横断測量のとりまとめ授業を予定 2) 帯広工業高校環境土木科 2 年生によるクサヨシ播種とタンチョウ給餌場の設置 3) 帯広工業高校環境土木科 3 年生は防災授業の最後として行う 4) ウツベツ川の地域連携川づくりということで、北海道が管理しているウツベツ川の護岸工事を昨年に実施し、車いすの方でも水辺に近づくことができるよう整備しています。場所は帯広厚生病院の裏側で、帯広建設管理部からこの周辺を管理してくれる団体を募集しているということで手を挙げさせていただきました。今後、新しい活動が増えると思いますのでご協力よろしくお祈いします。

【講評・閉会】

発言者	発表 テーマ	要 旨
十勝川中流部市民協働会議 副代表 石原由美子氏	講評	<p>皆さん本日はお疲れ様でした。十勝多自然ネットの伊豆倉です。</p> <p>先ほど鏡さんからもお話がありました、いい川・いい川づくりワークショップは子供を中心に活動しているところに受賞させたいと思っていましたが、昨年私どもの十勝多自然ネットは準グランプリを受賞してしまいました。私は同じ発表を 4 年前に仙台で行いましたが、そのときは 1 次予選で落ちました。内容はまったく同じでも話し方で印象が変わってくるし、いろんな伝え方があるのかなと思いました。小川さんが話したことはグランプリ以上の価値があると思いますので、これからも頑張ってもらいたいと思います。</p> <p>帯広農業高校は素晴らしい研究をやられていて、あれ以上やると我々の仕事がなくなってしまうので抑え気味でお願いします。また、その答えがわかったら教えてください。</p> <p>十勝川中流部市民協働会議は、どんどんレベルアップしていることをものすごく痛感しました。地域や歴史、子供たちと一緒にこれからも活動できたらなと思いますので、今後ともよろしくお祈いします。</p>
帯広河川事務所 中山副所長	閉会挨拶	<p>皆さん本日はお疲れ様でした。帯広河川事務所副所長をしている中山です。</p> <p>先週の台風の影響で現地調査はできませんでしたが、今日の報告会は貴重なものになったかなと思います。十勝川中流部市民協働会議の皆さんにおかれましては、様々は活動を通じ、十勝川を知っていただくきっかけづくりという重要な役割を担っていることに感謝申し上げます。このような高校生の活動によって若い方々に十勝川を知っていただき、それを伝承できれば今後の川づくりの貴重な財産になるなと思っております。私どももその活動に少しでも協力し、今後も継続していただければと思っています。</p> <p>先週の台風で帯広開発建設部の方から昨日と今日で関東と東北に被災調査の支援ということで派遣されております。帯広開発建設部は約 60 名、国土交通省からは約 500 名が派遣されている状況となっています。</p> <p>先ほど防災講座についてお話があったのですが、今回の台風の浸水は大体ハザードマップ通りに浸水しているため、家にあるハザードマップや購入したものを見て自分の家はどれくらい浸水するのか、どこに逃げればいいのか書いてありますので、よく確認して自分の身は自分で守れるようにしていただきたいと思っています。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>